



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成31年 月 日



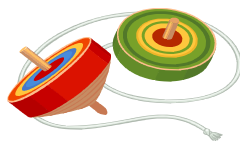
## 謹賀新年

旧年中はたいへんお世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

論語の中に「子<sup>しのたまわ</sup>曰く、吾十有五にして学<sup>われじゆうゆうご</sup>に志し、三十にして立ち、四十にして惑<sup>まど</sup>わず、五十にして天命<sup>のり</sup>を知り、六十にして耳<sup>のみみしたが</sup>順い、七十にして心の欲<sup>ほつ</sup>する所に従<sup>のり</sup>えども矩<sup>のり</sup>をこえず。」という言葉があります。「私は十五で（学問の道に入ろうと）決めた。三十で（学問に対する自分なりの基礎）を確立した。四十で物の道理がわかるにつれ迷わなくなった。五十で天が与えた使命を悟るようになった。六十で人のどんな言葉も素直に聞かれるようになった。七十になってからは、心のおもむくままに行動しても、道理をはずれることのないようになった。」という意味です。孔子はこのように自分の人生を振り返っていたのです。

論語のもととなっている孔子の言葉は、人間の悩みと同じ人間として親身になって受け答えしているのです。その教えが自然と受け入れられたのではないかとされています。孔子のような人生を送ることは難しいですが、自分のこれからの夢や目標をどのように考えているのか一度子どもと話してみることも大切だと思います。

全国学力学習状況調査で本校の6年生は「将来の夢や目標を持っている。」と明確に答えた子どもが53.4%全国の68.2%に比べると低い値になっています。夢や目標はすべての行動の原動力となります。どんな夢でもいいので夢を持ってその夢に向かって努力できる子どもに育てたいと思います。ふだんの生活とは少し違い、時間に余裕があるときに子どもの将来の夢について話していただき、夢をふくらませる子どもの笑顔をみるのも大切な時間だと思います。



校長 池田 弘一  
教職員一同